

香川大学

教育実践総合研究

第22号 2011年

◆研究論文・実践報告

- | | | |
|---|-----|---|
| 長谷川順一・井本正隆
田崎伸一郎・辻幸治
宮脇充広・高尾明博 | 1 | 教育実習生のパフォーマンスを評価する評価視点の開発研究（1）
—3年次小学校主免教育実習生を対象とした基礎的調査とその結果— |
| 長谷川順一・宮脇充広
大嶋和彦・石井都
住田恵津子・河田祥司
山西達也 | 13 | 教育実習生のパフォーマンスを評価する評価視点の開発研究（2）
—自己評価シートの開発と試行— |
| 瀬戸郁子・西内貴美 | 25 | 型や方法を遵守して子どもを引き回すことで得心し、自ら感受できない教師をつくらないために；理論と実践の臨界の場にかかるといふこと〔Ⅱ〕—「授業」といふ存在論 |
| 藪添隆一 | 37 | グループ夢分析による学部生ゼミ教育の試みについて |
| 小川真梨奈・水津幸恵
松井剛太 | 51 | 5歳児のいざごごにおける第三者の利用に関する研究 |
| 山下真弓・藤田隆子 | 59 | 小学校外国語活動移行期における教育委員会主催の教員研修について
—中核教員研修、市教委研修の受講者アンケート分析から— |
| 黒田勉・高橋正人 | 69 | 小学校中学年での情報リテラシー教育の実践について |
| 武藏博文・白井佐和 | 77 | 広汎性発達障害児を対象としたソーシャルスキルトレーニングの効果（2）
—「怒り」に対する感情理解及び感情のコントロールを中心として— |
| 古草敦史 | 91 | 「図画工作」授業の構築に向けて
—香川大学教育学部での実践事例— |
| 鈴木政勝・小野美枝 | 101 | 保育実践：りくとはなの思いに寄り添って（3）
—幼稚園、5歳児クラスにおける保育実践— |
| 鈴木政勝・小野美枝 | 115 | 保育実践：りくとはなの思いに寄り添って（4）
—幼稚園、5歳児クラスにおける保育実践— |
| 時岡晴美・大久保智生
平田俊治・福圓良子
江村早紀 | 129 | 学校支援地域本部事業の取り組み成果にみる学校・地域間関係の再編（その1）
—地域教育力に注目して— |
| 大久保智生・時岡晴美
平田俊治・福圓良子
江村早紀 | 139 | 学校支援地域本部事業の取り組み成果にみる学校・地域間関係の再編（その2）
—生徒、地域ボランティア、教師の意識調査から— |
| 富家正徳・宮前淳子 | 149 | 教師にとっての「職場の楽しさ」の規定要因に関する研究 |
| 野崎武司 | 159 | 体育における学習集団形成に関する開発研究（1） |
| 米村耕平・山神真一
野崎武司・石川雄一
藤原章司・田中聡
廣瀬貴志・長町裕子
山西達也・宮崎彰
北村篤子 | 169 | 香川大学教育学部附属小学校との連携による教員養成プログラムの開発（その5） |
| 江村早紀・大久保智生 | 177 | 授業場面における児童と教師のコミュニケーションと児童の授業への動機づけおよび学級への適応との関連 |

◆教育実践総合センター活動報告

香川大学教育学部

760-8522 高松市幸町1番1号

編集方針

「香川大学教育実践総合研究投稿要領」第2項の「香川大学教育実践総合研究（以下、「教育実践総合研究」という。）は、教科教育・教育臨床など広く教育実践に関する独創的な研究論文・実践報告、資料（研究ノート、研究動向の紹介など）及び香川大学教育学部附属教育実践総合センター（以下、「総合センター」という。）の活動報告などを掲載する」に基づき、「教育実践総合研究」は、以下の編集方針に基づくものとする。

1. 「教育実践総合研究」は「香川大学教育学部研究報告規程」に定める投稿者（原則として、教育学部教員とする。）による者のほか、香川大学教育実践総合研究編集会議（以下、「会議」という。）が特に依頼した者の原稿をもとに編集する。
2. 「教育実践総合研究」に、研究論文・実践報告、資料（研究ノート、研究動向の紹介など）及び総合センターの活動報告などの区分を設ける。
 - 1) 研究論文・実践報告は、教科教育・教育臨床などの広く教育実践に関する独創的な内容とする。
 - 2) 資料は、教育実践に関する記録、研究ノート、研究動向の展望、国内外の教育実践に関する最新の現況報告などの内容とする。
 - 3) 総合センターの活動報告は、事業報告、活動日誌などの内容とする。
 - 4) 会議が特に依頼した者の原稿は、上記の1)、2)及び3)のいずれかの内容とする。
3. 依頼論文等を含む投稿原稿の取り扱いが会議において決定する。
4. 採録された原稿の掲載順は、掲載区分ごとに原稿の受付順とする。